

平成6年度 決算

71億円の使いみち

町民一人当たりでは町税を11万9927円いたたき、29万7161円使ったことになりました。差額は国庫の補助金、借金でまかっています。

町民1人当たりでは

(人口は平成7年3月末日の23,965人)

土木費	53,601万	18.6%
総務費	75,700万	25.3%
衛生費	56,115万	19.1%
教育費	20,600万	6.8%
民生費	26,230万	8.9%
農林水産業費	16,730万	5.7%
国土費	1,400万	1.3%
商工費	6,440万	2.2%
その他	31,821万	10.7%

使った費用
29万7161円

頂いた町税
11万9927円

公債費2万3347円

平成6年度の町の一般会計の決算がまとまり、昨年の12月議会で承認されました。決算は町の家計簿といえるもので、平成6年4月1日から平成7年3月31日まで、町にお金がいくら入ってきて、何にどう使ったかをまとめたものです。決算額は歳入73億3701万円、歳出71億2147万円で、2億1554万円を平成7年度に繰り越しました。

平成6年度は64億円でスタートし、補正を経て最終的に72億4484万円になりました。歳入歳出とも13%減

平成6年度は64億円でスタートし、補正を経て最終的に72億4484万円になりました。歳入歳出とも13%減

暮らして町づくり71億円

平成6年度の町の一般会計の決算がまとまり、昨年の12月議会で承認されました。決算は町の家計簿といえるもので、平成6年4月1日から平成7年3月31日まで、町にお金がいくら入ってきて、何にどう使ったかをまとめたものです。決算額は歳入73億3701万円、歳出71億2147万円で、2億1554万円を平成7年度に繰り越しました。

平成6年度は64億円でスタートし、補正を経て最終的に72億4484万円になりました。

歳入と歳出の差額2億1554万円は次年度、つまり平成7年度に繰り越されました。

町民一人30万円使う

歳入の内訳は前ページのとおりにです。歳入のうち町税や繰越金など町だけでまかなえる財源を自主財源といい、歳入全体の57.5%を占めます。自主財源で足りない分は国庫の支出金や町債(町の借金)でまかなうこととなります。これを依存財源といい、42.5%を占めています。

歳出の内訳

(1万円未満は切捨)

◆総務費 18億1578万円(+1836万円、+1.0%) 町職員給料8億428万円・町職員手当など4億7066万円・徴税費4106万円・広域行政対策費776万円・戸籍住民基本台帳費1140万円・交通安全対策費1293万円・町史編さん費2136万円・企画費1979万円・選挙費292万円
◆衛生費 13億5918万円(+7億6134万円、+127.3%) 保健センター及び国保健康づくりセンター建設事業費6億9310万円・新潟地区広域清掃事務組合負担金2億8815万円・ごみ収集委託料等7008万円・古紙集団回収事業助成金107万円・防薬剤費補助金220万円・乳児医療費助成726万円



◆土木費 12億8454万円(前年度より-10億8091万円、-45.7%) 町道の整備5億9781万円・国、県道の整備(負担金)4491万円・土地区画整理事業助成金2億

円・除雪委託料1229万円・下水道事業特別会計繰出金1億3081万円・都市下水道費3206万円・公園事業費3618万円・生け垣設置奨励事業費補助金41万円
◆民生費 6億2928万円(+1億6337万円、+35.1%) 社会福祉総務費5773万円・老人福祉総務費2億4540万円・老人福祉センター管理費1613万円・国民年金事務費2759万円・ひとり親家庭等総務費223万円・障害福祉費2767万円・児童福祉総務費9912万円・寺地保育所大規模修繕事業費4699万円



◆公債費 6億595万円(+8358万円、+16.0%) 町の借金(町債)の返済。
◆教育費 4億9378万円(-4740万円、-8.8%) ふれあい教育センター建設事業費4153万円・小学校費1億8358万円・中学校費1億3363万円・公民館費1847万

自主財源

42億1894万円

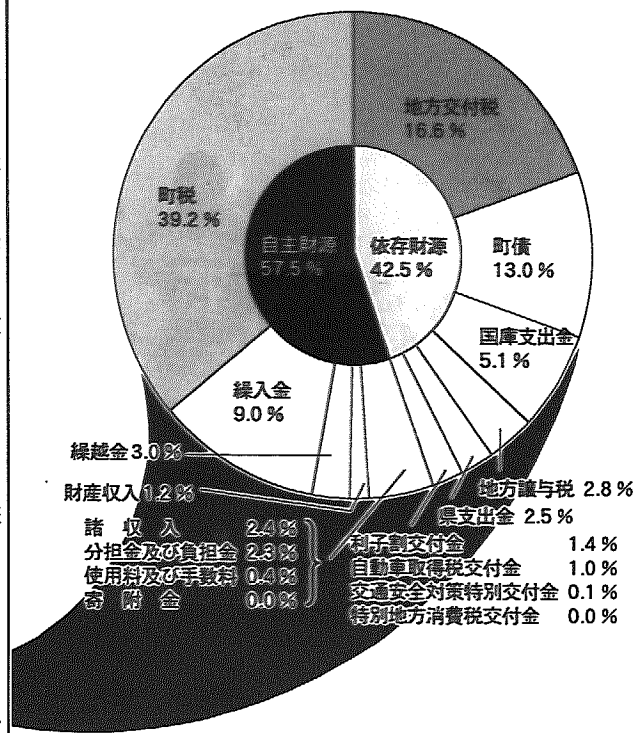
- ◆町税 28億7406万円(前年度より-1346万円、-0.5%) 町の最大の収入源。固定資産税13億5846万円、町民税12億9341万円など。
- ◆繰入金 6億5760万円(+3億899万円、+88.6%) 基金を崩して一般会計に入れるもの。地域福祉基金から1億6000万円、教育施設整備基金から7000万円、財政調整基金から6500万円など。
- ◆繰越金 2億1656万円(+3606万円、+20%) 前年度繰越金。
- ◆諸収入 1億7720万円(+2514万円、+16.5%) 産業育成資金貸付金元利収入6204万円など。
- ◆分担金及び負担金 1億6866万円(+273万円、+1.7%) ほとんどが保育料。
- ◆財産収入 8991万円(-1億2504万円、-58.2%) 金利の低下による運用収入の減などのため。
- ◆使用料及び手数料 3274万円(+188万円、+6.1%) 戸籍住民手数料、体育施設使用料。
- ◆寄付金 221万円(-1億4311万円、-98.5%)

依存財源

31億1807万円

- ◆地方交付税 12億2031万円(-2億2600万円、-15.6%) 国が所得税、法人税及び酒税の収入額の各32%を地方に交付。
- ◆町債 9億5210万円(+1億3260万円、+16.2%) 町の借金。保健センター建設事業債3億円、ふれあいロード環境整備事業債2億8500万円など。
- ◆国庫支出金 3億7550万円(-1億4197万円、-27.4%) 使い道が決まっている国からの補助金。町道改良事業補助金5950万円など。
- ◆地方譲与税 2億832万円(+124万円、+0.6%)
- ◆県支出金 1億8331万円(+1490万円、+8.8%) 農村総合整備モデル事業補助金2584万円、児童措置費負担金2415万円など。
- ◆利子割交付金 1億13万円(+2136万円、+27.1%)
- ◆自動車取得税交付金 7094万円(+597万円、+9.2%)
- ◆交通安全対策特別交付金 678万円(+38万円、+6.0%)
- ◆特別地方消費税交付金 68万円(+1万円、+1.8%)

歳入 73億3701万円



円・図書館費1087万円・青少年問題対策費415万円・社会教育費4863万円・社会体育費2220万円



◆農林水産業費 4億254万円(+8038万円、+24.9%) 農業委員会費1335万円・土地利用型農業経営規模拡大促進事業費213万円・水田當農活性化対策費1740万円・地域農業整備促進事業費170万円・農村総合整備事業費1億9762万円・町民農園事業費68万円

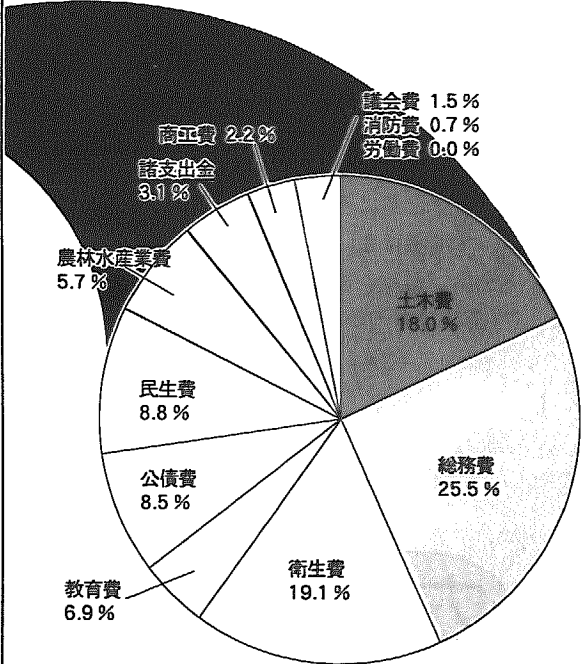


◆諸支出金 2億1923万円(-9736万円、-30.8%) 主に将来に備えて積み立てたもの。財政

調整基金1億1511万円・都市整備基金6413万円など。
◆商工費 1億5455万円(+1011万円、+7.0%) 産業育成資金の融資貸付9690万円・商工業近代化資金貸付1億9269万円・消費生活の改善など。
◆議会費 1億839万円(+643万円、+6.3%) 議員報酬6496万円・共済費618万円・委託料145万円など。



◆消防費 4803万円(+535万円、+12.5%) 常備消防費1177万円(特殊災害に備え、救急・救助用資器材の整備)・非常備消防費2311万円(消防団の整備の充実)
◆労働費 22万円(-54万円、-71.2%) 黒崎町労働組合団体協議会の文化活動に対する補助7万円など。



歳出 71億2147万円